

専修学校熊本壺溪塾成績評価における客観的な指標の算出に関する規定

1. 成績評価・試験・単位認定について

(1) 成績評価の実施時期

成績評価は前期末および学年末に行う。

(2) 試験

前期：授業復習試験（4回）、期末試験（1回）、模擬試験（6回）行う。

後期：それぞれの科目の授業終了時に行う。実習等の科目についてはレポートを提出させる。

(3) 成績評価の方法

前期は、期末試験の得点と科目担当者が指定するその他の項目（復習テスト、レポート等）により評価を行う。

その際、期末試験80%、その他の項目を20%の割合で評価を行うこととする。

【前期期末試験の評価基準と合否】

80～100点 5

60～79点 4

40～59点 3

20～39点 2

0～19点 1

40点以上は合格とし、39点以下は、不合格とする。

期末試験の評価基準にその他の項目を加味して科目担当者が評定値を決定する。

後期は、出席に重点を置き、授業レポート、授業テストの得点、提出物により担当者が評価を行う。後期については5段階評価ではなく、合否の判定を行う。

前期・後期とも、出席不足者（授業時数の3分の2以上出席していない者）は試験の得点に係らず、単位修得不可となり、評価の対象としない。

(4) 成績評価と合否

5、4、3は合格とし、2、1は不合格とする。

(5) 単位認定について

前期、後期とも、規定の授業を履修し、出席時数、成績が必要条件を満たした時、科目ごとの授業時数により定められた単位を修得したことが認定される。

(6) 生徒の学習成果、学習意欲に関わる評価の指標について

厳格な成績評価を適正に実施するために、客観的な指標としてGPAを設定している。

GPA算出においては以下の3項目それぞれにGPを設定し、3項目の合計GPを100点とする(100点満点で算出された合計GPを以下、GPAとする)。

- (1) 期末テストを実施する科目の成績の平均値をGP化する(満点は30点)
- (2) 前期の出席率をGP化する(満点は30点)
- (3) 後期の出席率をGP化する(満点は40点)

【A:期末テストを実施する科目のGP算出方法】

期末テストの成績を80%とし、そこに小テストやレポート等を20%加味して決定された科目別の5段階の成績評価の平均値を6倍してGP化する。

【B:出席率のGP算出方法】

前期、後期それぞれ出席率により出席ポイントを算出し、GP化する。

<出席率>

100%→出席評価[5]90~99%→出席評価[4]80~89%→出席評価[3]

69~79%→出席評価[2]68%以下→出席評価[1]

前期は出席ポイントを6倍してGP化、後期は出席ポイントを8倍してGP化。

※後期授業では出席に重きを置いて単位認定を行うため、倍率が前期とは異なる。

※事故や入院などのやむを得ない事情により出席不足となる場合、正当と認められた者は、追加レポート等の措置により、不足を補うことができるとする。

上記の【A】【B】を合計して100点満点のGPAを算出する。

※基本的に学科ごとにGPAを算出し、成績の分布を表すこととするが、学科間の人数の差等により、成績分布に大きく違いが出る場合には、公平を期すために調整を図ることとする。

令和6年度 専修学校熊本壺溪塾 GPA算出方法

前期出席状況(4～9月)、前期成績評価、後期出席状況(11～2月)の3種類のデータを合計100点満点に換算して学内における序列を決定します。

※後期は出席率のみでの成績評価を行うためウェイトを高く設定しています。

区分	算出方法	GP満点
(1)前期出席状況	出席率(%)に対応する出席ポイントを6倍する	30
(2)後期出席状況	出席率(%)に対応する出席ポイントを8倍する	40
	前期・後期の出席率 (%)の出席ポイント	
	0～68%	1
	69～79%	2
	80～85%	3
	86～90%	3.5
	91～95%	4
	96～99%	4.5
	100%	5
(3)前期成績	各科目の成績評価(5段階)の平均値を6倍する	30
(1),(2),(3)のGP合計		100

(ある生徒のGPA 算出例)

科目名	成績評価
政治Ⅰ	5
経済Ⅰ	4
社会Ⅰ	4
日本史Ⅰ	5
世界史Ⅰ	3
地理Ⅰ	3
文章国語Ⅰ	3
文章英語Ⅰ	2
数的推理Ⅰ	4
判断推理Ⅰ	5
平均値	3.80
(3)前期成績GP	22.8

ある生徒の前期出席率が91%、後期出席率が63%であったとすると、

前期出席率	出席ポイント	(1)前期出席GP
91	4	$4 \times 6 = 24$

後期出席率	出席ポイント	(2)後期出席GP
63	1	$1 \times 8 = 8$

この生徒のGPAは、

$$22.8 + 24 + 8 = 54.8$$

54.8点となります。

令和6年度 専修学校熊本壺溪塾 GPA算出方法

前期出席状況(4～9月)、前期成績評価、後期出席状況(11～2月)の3種類のデータを合計100点満点に換算して学内における序列を決定します。

※後期は出席率のみでの成績評価を行うためウェイトを高く設定しています。

区分	算出方法	GP満点
(1)前期出席状況	出席率(%)に対応する出席ポイントを6倍する	30
(2)後期出席状況	出席率(%)に対応する出席ポイントを8倍する	40
	前期・後期の出席率 (%)の出席ポイント	
	0～68%	1
	69～79%	2
	80～85%	3
	86～90%	3.5
	91～95%	4
	96～99%	4.5
	100%	5
(3)前期成績	各科目の成績評価(5段階)の平均値を6倍する	30
(1),(2),(3)のGP合計		100

(ある生徒のGPA 算出例)

科目名	成績評価
政治Ⅰ	5
経済Ⅰ	4
社会Ⅰ	4
日本史Ⅰ	5
世界史Ⅰ	3
地理Ⅰ	3
文章国語Ⅰ	3
文章英語Ⅰ	2
数的推理Ⅰ	4
判断推理Ⅰ	5
平均値	3.80
(3)前期成績GP	22.8

ある生徒の前期出席率が91%、後期出席率が63%であったとすると、

前期出席率	出席ポイント	(1)前期出席GP
91	4	$4 \times 6 = 24$

後期出席率	出席ポイント	(2)後期出席GP
63	1	$1 \times 8 = 8$

この生徒のGPAは、

$$22.8 + 24 + 8 = 54.8$$

54.8点となります。